



2013.5.21. No.1136.  
 ご相談はお気軽に  
 TEL とも **3905-0970**  
 FAX **3905-0970**  
 さがらとしこ事務所  
 赤羽北3-23-17  
 (バス停「赤羽北3丁目」、メガシティ近く)  
 日本共産党議員団  
 区役所内 3908-7144  
<http://www.kitanet.ne.jp/~kyoukita/>

# 北区の医療と介護の連携を考えるつどい 飛鳥ホールに300名、ゲストスピーチと交流に熱気

●北区の医療・介護の最先端から、お二人がゲスト・スピーチ。スライド(パワーポイント)を使ってのリアルなご報告をいただきました。



●浮間さくら荘高齢者あんしんセンター相談員の関口久子さんは、病気や障害を持ち、経済的にも困難を抱えている家族に対し、地域の医療・介護の専門職やご近所の協力も得ながら、入・退院、在宅生活や金銭管理の支援などを行った実践を紹介し、医療・福祉・介護サービスの顔の見える対人ネットワーク、協同・連携のしくみづくりをすすめたいと報告しました。

## ゲストスピーチのあと、医師でもある小池晃党副委員長が発言した。

「北区では介護認定のランク下げ問題、北社会保険病院や印刷局東京病院など医療ベットの確保、高齢者福祉費の改善等に取り組む、皆さんと共に政治を動かしてきている。その中で、北区も「長生きするなら北区が一番」として、実態調査にも取り組み、前向きな変化をつくってきた。カギは医療・介護がしっかりと連携して基盤整備をすすめていくこと。医師会とも協力し、地域ケアの受け皿をつくり、北区でのとりくみを後押ししていきたい。



※小池晃党副委員長の発言の詳細については、次号でもお届けする予定です。さがらとしこ

一方、現場の実態、くらしの要求は切実だ。区の調査でも経済的にゆとりのない高齢者は55.8%、介護保険の保険料段階でも本人非課税者は61%、年金収入280万円以下は73%と7割は所得が低い現状の中、高い国保料、介護保険料で滞納もある。特養ホームは938名の待機。個室やグループホームの利用料も高くして入所できない。お金の心配なく、医療や介護を受けられるような政治にしてほしいというのが皆さんの願いです。」と強調しました。



5-16 「医療と介護を考えるつどい」資料DVDをご活用下さい。

●北区医師会副会長の河村雅明さんは、今後、大都市を中心に高齢化率が上昇、北区でも地域的には高齢化率が50%を越えるところもある中、区民ニーズでは住み慣れた地域や家で暮らしたいという希望が高い。病気をもちながらの在宅生活は、看取りも含めて、地域で支えていける体制が必要として、地域包括ケアシステムの構築、他職種の協同ご近所もまき込んでみんなですすめる体制が必要と指摘。そのために医師会としても、在宅医療を実施する人材育成、在宅療養支援診療所や病院の連携・病状悪化時の緊急入院ベットの確保、情報共有システムの構築、高齢者あんしんセンターとの協同、区民への啓発等に取り組んでいきたいと述べました。

参加者の皆さんからも賛同や要望が次々に...  
 北区医師会、野本晴夫会長は、「TPPは国民にとって不利益である」と語られた。

裏面は、安倍首相の発言に抗議する意気込みをこめて



●地域ケア連携をさらにすすめてゆきましょう。5/16(木)の「医療・介護のつどい」にご協力ありがとうございました。ありがとうございます。日本共産党北区委員会・日本共産党北区議員団



維新の会、橋下大阪市長は発言を撤回し、謝罪を求めます。



「慰安婦」制度に関して、女性が連れてこられ兵士に性の相手としてあてがわれたという事は、国際的に知られている事実です。もし、橋下市長がその実態を知っていたうえでこうした発言をしているのであれば、人権意識のかけらもない、全く理解ができていない人だといわざるを得ません。

日本の国際的信用おとしめる

「慰安婦」問題解決に取り組んできた 大森典子弁護士

米軍基地の兵士に風俗を活用すると言いましたが、女性の人権という意識が欠如しており、女性を道具しかとらえない差別です。このような発言をする橋下市長は、公人としての資格はまったくありません。日本の国際的な信用をおとしめることにもなり、ただちに市長を辞めるべきです。また公党の代表であることもありません。党の職も辞めるべきです。

⑤5月10日、区内の女性団体のよびかけで、日本産党の元参院議員、吉川春子さんと迎える学習会が開かれたばかりでした。  
 ④1991年(H3)、金学順さんが50年もの苦みの末、勇気とふりしぼって名乗り出られました。日本の弁護士会館でのその瞬間を、私は「新婦人ぶん」の記者として取材していました。その後、防衛庁の図書館で「従軍日誌」の数の資料とさがし出し、足がすくむ状態の中で取材をつけました。  
 ③世界の女性たちは、ねばり強く、聴き取り調査をつけて、実態を告発してきたのです。  
 区議 さがらとして



「ほとんどの場合、10代の少女と20歳前後の若い女性たちが誘拐(ゆかい)されたり、いい仕事だとだまされた。12.13.14.15歳の少女が連行されたのですよ。日本、中国、朝鮮半島、フィリピン、インドネシアなどの女性たちです」と判例



米軍犯罪の擁護につながる

沖縄県女性団体連絡協議会 伊志嶺雅子会長

「海兵隊の猛者の性的エネルギーはコントロールできない」と、在日米軍幹部に風俗業者の活用を求めた彼の発言は、「風俗がないから犯罪を起こす」との論理であり、基地あるがゆえの米軍犯罪・性暴力に対する真摯な認識も反省のかけらもない、聞くに耐えない言語道断の暴言です。開いた口がふさがりません。沖縄は戦後、日本国憲法から切り離されたため、無権利状態に置かれた女性たちは米軍によって言語に尽くせない辱め・苦痛を味わい、人生をめちゃくちゃに蹂躪(じゆうりやく)されてきました。戦後68年間、基地の重圧・苦しみを受け続けてきた県民・女性として、海兵隊の沖縄駐留を当然の前提とし、米軍犯罪の擁護にまでつながるような彼の暴言を断じて許すわけにはいきません。

橋下市長の妄言  
あまりにひどい

2013.5.5. 琉球市議、Biyon



市長の座おとりてもらいたい

日本キリスト教婦人矯風会 寺岡シホ子業務執行理事

1886年の設立当初から公娼制度の廃止を求め、女性の人權確立のために活動してきた私たちは橋下氏の発言を聞いてあ然とししました。女性は男性の性のはけ口となって当然という女性蔑視の最たるもの。このような人権感覚の欠如した人が大阪市長、公人として発言していることは許せません。市長の座をおとりてもらいたい。被害者が求めているのはお金ではなく尊厳の回復です。国が責任を認め、謝罪、賠償をしない限り、彼女たちの尊厳は回復されません。国の名譽も回復されません。